学校番号	119

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭総合「自立・共生・創造」　（東京書籍）						
副教材等	家庭科５５資料集（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう。

・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。他の人の考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察、ワークシートの記述、製作計画、実習記録表、レポート、発表自己評価等	学習状況の観察、ワークシートの記述、製作計画、実習記録表、レポート、発表、定期考査の結果、自己評価・相互評価等	学習状況の観察、ワークシートの記述、製作品、観察記録表レポート、発表、定期考査、実技テストの結果、自己評価・相互評価等	学習状況の観察、ワークシートの記述、製作計画、実習記録表、観察記録表、レポート、発表、定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5	自分らしい人生をつくる	○家庭科の学び方 ・ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動 ○生涯発達の視点 ○青年期の課題 ＊自分について考える ＊自立について考える	 ○ ○	 ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:事例研究などを通して、青年期の生き方について検討する技術を身に付けている。 d:青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査 授業観察 ワークシート 定期考査
6 7 月		○目標をもって生きる ○人生をつくる ・パートナーと生きる ＊サイレントオークション ○家族・家庭を見つめる ○これからの家庭生活と社会	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ 	○ ○	a:家族・家庭の意義や役割、固定的な性別役割分業意識を見直し多様な生き方を認め、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:自分を見つめ、肯定的な自己概念を持ち、自分の人生や進路について考えを深め、具体的にまとめる。男女共同参画の面から、各自が担う家庭での役割と自立について考え、まとめたり、発表したりしている。 c:事例研究などを通して、家族や家庭の在り方について検討する技術を身に付けている。 d:生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	
		1学期末考査		○	○	○		定期考査
8 月		○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊洗濯してみよう 調査研究、個人発表	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	レポート 発表 自己評価 相互評価

9 10 11 12 月	衣生活をつくる	○被服の役割を考える ○被服を入手する ○被服を管理する ○被服を作る ＊採寸 ＊被服製作(エプロン製作) ○衣生活の文化と知恵 ＊生活文化と被服 ○これからの衣生活	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:各ライフステージに適した衣服の役割、適切な着装、衣生活の管理について考えを深めている。衣服の購入から廃棄・環境とのかかわりなど、持続可能な衣生活について考え工夫している。 c:生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。 d:被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 製作計画 実習ﾚﾎﾟｰﾄ 製作物 定期考査
		2学期期末考査		○	○	○		定期考査
1 2 3 月	経済生活を営む	○職業生活を設計する ＊求人票の見方 ○計画的に使う ＊マネープランの シュミレーションゲーム ○国民経済・国際経済と家庭の経済生活 ○現代の消費社会 ＊契約と契約トラブル ＊商品の販売方法 ・多様化する支払い方法 ○消費者の権利と責任 ○これからの消費生活と	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。消費生活における課題や消費者の権利と責任について理解しようとしている。 b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。消費生活における課題や消費者の権利と責任について理解しようとする。 c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査 自己評価 相互評価
		学年末考査		○	○	○		定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。